

授業科目名：世界経済論 B

配当学年：2・3・4

単位数：2 単位

授業形態：週 2 時間

期間：後期

オフィスアワー：月曜日 17:30～18:30（事前に連絡をとること）

成績評価の方法：定期試験

テキスト・参考文献：P.R.クルーグマン&M.オブズフェルド『国際経済』新世社,1996年

高木信二『入門国際金融[第2版]』日本評論社,1999年

講義内容：

国際マクロ経済学および国際金融論の基礎を講義する。最初に国際収支と為替レートに関する基礎的知識を学習し、次に「為替レートの決定と国際収支の調整」という国際マクロ経済学の代表的モデルを紹介し、最後に「国際金融市場と国際通貨システム」という制度的・歴史的考察を行う。講義の順序はおおよそ以下の通りである。

- 1．国際収支とマクロ・バランス
- 2．外国為替市場の機能
- 3．為替レートの短期理論(カバーなし金利平価：UIP)
- 4．為替レートの長期理論(購買力平価：PPP)
- 5．アセット・アプローチ(マネタリー・アプローチ/ドーンブッシュ・モデル/ポートフォリオ・バランス・モデル)
- 6．マンデル=フレミング・モデル
- 7．国際金融市場
- 8．国際通貨システム(IMF 体制/ドル本位制/EMS からユーロ/円の国際化)

是非履修すべきもの： 経済学 A、経済学 B

本講義と関連のある他の科目・金融論